



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月27日

上場会社名 神奈川中央交通株式会社
コード番号 9081 URL <https://www.kanachu.co.jp/>

上場取引所 東

代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 今井 雅之
問合せ先責任者(役職名) 経営戦略部広報・IR担当課長 (氏名) 村山 大輔 TEL 0463-22-8894

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	32,145	2.0	2,907	11.4	3,012	10.6	1,706	11.6
2026年3月期第1四半期	31,500	7.2	2,609	△3.8	2,725	△8.0	1,528	△51.9

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 4,031百万円(70.3%) 2026年3月期第1四半期 2,367百万円(△4.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	139.05	—
2026年3月期第1四半期	124.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	187,697	72,976	35.5
2026年3月期	185,392	69,661	34.2

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 66,587百万円 2026年3月期 63,326百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,700	2.1	4,650	△1.6	4,480	△4.6	2,350	△13.0	191.51
通期	129,700	2.3	6,200	△8.5	5,630	△15.5	3,730	3.0	303.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(2026年7月27日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「2027年3月期第1四半期決算説明資料」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	12,600,000株	2026年3月期	12,600,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	328,996株	2026年3月期	328,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	12,271,058株	2026年3月期1Q	12,271,168株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続く一方、中東情勢をはじめとする不安定な国際情勢を背景とした資源価格の変動や物価上昇の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループ各社は、各部門において積極的な営業施策を図るとともに、経営の効率化に努めてまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、32,145百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は2,907百万円（前年同期比11.4%増）、経常利益は3,012百万円（前年同期比10.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、1,706百万円（前年同期比11.6%増）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

(旅客自動車事業)

乗合バス事業においては、4月に運賃改定を実施したことにより増収となりました。また、藤沢市天神町におけるA I オンデマンドバス実証実験の運行時間帯を拡大したほか、6月にはフリーパス方式の乗車券「かなちゃんパス」のスマートフォン対応を開始するなど、新たな交通モードへの転換やキャッシュレス化等、持続可能なモビリティサービスの実現に向けた取り組みを推進しました。

貸切バス事業においては、神奈中観光㈱にて契約単価の向上を図ったことにより増収となりました。

タクシー事業においては、神奈中タクシー㈱にて一車当たりの収入が増加したことにより増収となりました。

以上の結果、旅客自動車事業全体の売上高は15,550百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は1,416百万円（前年同期比26.1%増）となりました。

(不動産事業)

賃貸事業においては、前期に㈱水島商事を買収し事業を拡大したことなどにより増収となりました。

分譲事業においては、販売戸数が減少したことにより減収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は1,629百万円（前年同期比11.3%減）、営業利益は521百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

(自動車販売事業)

商用車販売事業においては、神奈川三菱ふそう自動車販売㈱にて大型トラックの新車販売台数が増加したことや、車両整備収入が増加したことなどにより増収となりました。

輸入車販売事業においては、神奈中相模ヤナセ㈱にて販売台数の減少により減収となりました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は9,840百万円（前年同期比1.1%減）となりましたが、商用車販売事業の増収により、営業利益は575百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

(その他の事業)

商用車架装事業においては、横浜車輛工業㈱にてカブラ架装の受注が増加したことなどにより増収となりました。

ビル管理事業においては、横浜ビルシステム㈱にてオフィスビル等の設備工事の受注が増加したことなどにより増収となりました。

飲食事業においては、㈱神奈中システムプランにて前期に出店した「ドトールコーヒーショップタイムズステーション川崎店」が通期寄与したことなどにより増収となりました。

情報サービス事業においては、㈱神奈中情報システムにて前期に受注したシステム代替の反動減などにより減収となりました。

ホテル事業においては、前期に中国料理「東光苑」を閉店したことなどにより減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は7,476百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は447百万円（前年同期比23.8%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(財政状態の変動状況)

総資産は、投資有価証券の時価評価額が増加したことなどにより、前期末に比べて2,304百万円増加し、187,697百万円となりました。

負債は、旅客自動車事業において前受収益が増加したものの、借入金の返済が進んだことなどにより、前期末に比べて1,010百万円減少し、114,721百万円となりました。

また、純資産は、その他有価証券評価差額金や利益剰余金が増加したことなどにより、前期末に比べて3,315百万円増加し、72,976百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の連結業績予想につきまして、直近の業績動向を踏まえ、2026年4月28日に公表した第2四半期(累計)の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2026年7月27日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」及び「2027年3月期第1四半期決算説明資料」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,514	2,895
受取手形、売掛金及び契約資産	10,684	10,101
商品及び製品	15,783	16,548
仕掛品	63	166
原材料及び貯蔵品	629	659
その他	3,550	3,684
貸倒引当金	△12	△14
流動資産合計	34,213	34,041
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	98,931	99,387
車両運搬具	43,442	43,213
土地	70,935	70,928
その他	16,949	16,943
減価償却累計額	△104,914	△105,685
有形固定資産合計	125,344	124,787
無形固定資産	966	911
投資その他の資産		
投資有価証券	22,568	25,658
その他	2,324	2,322
貸倒引当金	△24	△24
投資その他の資産合計	24,868	27,957
固定資産合計	151,179	153,655
資産合計	185,392	187,697
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,182	6,386
短期借入金	20,883	18,564
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
未払法人税等	793	931
賞与引当金	2,609	4,046
その他	15,527	17,337
流動負債合計	52,996	52,266
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	29,579	28,316
役員退職慰労引当金	2	0
退職給付に係る負債	3,037	2,975
その他	15,115	16,161
固定負債合計	62,734	62,454
負債合計	115,731	114,721

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,160	3,160
資本剰余金	723	723
利益剰余金	51,191	52,345
自己株式	△940	△940
株主資本合計	54,135	55,289
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,061	11,175
退職給付に係る調整累計額	130	122
その他の包括利益累計額合計	9,191	11,298
非支配株主持分	6,334	6,389
純資産合計	69,661	72,976
負債純資産合計	185,392	187,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高		
旅客自動車事業営業収益	14,745	15,502
不動産事業売上高	1,835	1,625
その他の事業売上高	14,919	15,018
売上高合計	31,500	32,145
売上原価		
旅客自動車事業運送費	12,142	12,548
不動産事業売上原価	972	810
その他の事業売上原価	12,256	12,247
売上原価合計	25,371	25,606
売上総利益	6,129	6,539
販売費及び一般管理費		
販売費	2,140	2,208
一般管理費	1,379	1,423
販売費及び一般管理費合計	3,519	3,631
営業利益	2,609	2,907
営業外収益		
受取配当金	300	365
その他	48	37
営業外収益合計	349	402
営業外費用		
支払利息	151	270
その他	81	26
営業外費用合計	233	297
経常利益	2,725	3,012
特別利益		
固定資産売却益	20	9
補助金収入	298	10
特別利益合計	319	19
特別損失		
固定資産除却損	148	185
固定資産圧縮損	284	10
その他	37	4
特別損失合計	470	200
税金等調整前四半期純利益	2,574	2,831
法人税、住民税及び事業税	866	890
法人税等調整額	△17	10
法人税等合計	849	900
四半期純利益	1,725	1,931
非支配株主に帰属する四半期純利益	196	225
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,528	1,706

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,725	1,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	646	2,109
退職給付に係る調整額	△3	△9
その他の包括利益合計	642	2,100
四半期包括利益	2,367	4,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,150	3,813
非支配株主に係る四半期包括利益	217	218

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他の 事業 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	14,745	1,835	9,757	5,162	31,500	—	31,500
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	1	189	1,919	2,158	△2,158	—
計	14,793	1,837	9,947	7,081	33,659	△2,158	31,500
セグメント利益	1,123	672	537	361	2,694	△84	2,609

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食事業、ホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△84百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他の 事業 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	旅客自動車 事業	不動産事業	自動車 販売事業				
売上高							
外部顧客への売上高	15,502	1,625	9,621	5,397	32,145	—	32,145
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	4	219	2,079	2,352	△2,352	—
計	15,550	1,629	9,840	7,476	34,497	△2,352	32,145
セグメント利益	1,416	521	575	447	2,960	△52	2,907

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、流通事業、飲食事業、ホテル事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△52百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,544百万円	1,761百万円

(注) のれんの償却額は、金額の重要性が乏しいため注記を省略しております。